

「あいち食育いきいきプラン2025」の「数値目標」の進捗状況

資料2

◎：目標を達成したもの（1項目）、○：改善が見られるもの（9項目）、△：改善が見られないもの（10項目） 計20項目

1 食を通じて健康な「体」をつくるための目標

(状況…◎：達成、○：改善、△：改善見られず)

項目	基準年	現状値(2021)	状況	目標(2025)	担当課室	2022年度の県の主な取組
○朝食を毎日食べる習慣がある小中学生の割合	93.2% (2020)	92.6%	△	98%以上	保健体育課	○学校全体で食育に取り組むための指導充実に向けた指導者の育成 ○「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発 ○PTA活動における研修会や情報発信
○朝食を毎日食べる習慣がある高校生の割合	86.0% (2020)	85.7%	△	91%以上		○保健体育・家庭科、ホーム活動等を活用した食育の推進 ○農業・家庭・看護・福祉などの専門学科での食育指導の充実
○朝食を欠食しない若い世代の割合	89.1% (2020)	85.4%	△	91%以上	健康対策課	○若い世代を対象とした講演会など啓発活動の実施 ○職場の給食施設への栄養管理・健康増進に関する巡回指導
○適正体重の小中学生の割合	88.8% (2019)	86.2%	△	91%以上	保健体育課	○肥満傾向にある児童に対する効果的な指導実施のための、指導者の研修 ○思春期からの適正体重の維持のため、学校関係者との連携指導のための指導者研修
○自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践している成人の割合	32.8% (2020)	34.2%	○	35%以上	健康対策課	○ホスピタリティの特定検診・特定保健指導のための指導者研修 ○職場の給食施設への栄養管理・健康増進に関する巡回指導
○永久歯に虫歯のない中学生の割合	80.6% (2019)	81.2%	○	85%以上		○乳歯から永久歯までの一貫した予防策の推進
○何でも噛んで食べることができる成人の割合	82.0% (2018)	82.4%	○	87%以上		○働く世代の歯周病の重症化予防を図るための研修等の啓発活動
○朝食に野菜を食べている小中学生の割合	55.9% (2020)	61.9%	○	80%以上	保健体育課	○食育だより等各种お便りでの情報提供 ○栄養教諭等の学校給食関係者の研修会での働きかけ
○毎日3回以上野菜を食べる成人の割合	17.7% (2020)	17.5%	△	20%以上	健康対策課	○外食等を利用する機会において、野菜摂取量の増加を含めたバランスの良い食事を選択できる環境づくりの推進



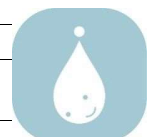
2 食を通じて豊かな「心」を育むための目標

項目	基準年	現状値(2021)	状況	目標(2025)	担当課室	2022年度の県の主な取組
○1日最低1食、家族や友人と一緒に楽しく食事をする人の割合	57.7% (2020)	68.0%	○	70%以上	食育消費流通課	○家族団らんの大切さや、家族・友人と一緒に食事をとることの呼びかけ ○子ども食堂への支援 ○生活支援サービスの実施(犬居巴屋と情報提供)
○農林漁業体験学習に取り組む小学校の割合(名古屋市を除く)	77.8% (2019)	69.8%	△	80%以上		○「農林漁業体験学習実践マニュアル」と「地域協力者一覧」の周知
○県等が実施するイベントや農林漁業体験の参加者数	14.6万人(2019)	13.4万人(2020) 13.6万人(2021)	△	18.5万人以上	農政課	○教育ファーム、酪農教育ファーム、食農教育、市民農園、農業体験農園などの取組推進 ○農山漁村の地産資源を巡るイベント紹介と「食と花の街道」の認定
○郷土料理等の食文化を家庭や地域で次世代に伝えている人の割合	41.2% (2020)	47.2%	○	50%以上	食育消費流通課	○食育推進ボランティアや農村部等による食文化や食の知識の継承 ○あいちの伝統野菜やあいちの野菜と漬物の魅力について情報発信など



3 食を通じて「環境」に優しい暮らしを築くための目標

項目	基準年	現状値(2021)	状況	目標(2025)	担当課室	2022年度の県の主な取組
○無駄や廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合	45.8% (2020)	47.6%	○	50%以上	食育消費流通課	○食材の適正購入量や加工の節約等、環境に配慮した食生活の実践促進 ○食品ロス削減イベントの開催や、食品ロス削減実践学習プログラムによる普及啓発
○学校給食において全食品数に占める県産食品数の割合	40.4% (2020)	38.2%	△	45%以上	保健体育課	○県産農林水産物も活用促進のための安定的な供給体制づくり ○学校給食用牛乳供給事業者への指導や教育委員会等との調整 ○「愛知を食べる学校給食の日」の実施 ○地場産農産物の学校給食への導入促進を図るための会議の開催
○学校給食において年間に使用した県産食品の種類	55種類(2019)	57種類	○	60種類以上		
○県産農林水産物を優先して購入する県民の割合	15.4% (2020)	13.3%	△	25%以上	食育消費流通課	○農林水産物専門Webサイトによる県民への広報・啓発 ○「いいともあいち運動」キャンペーン実施 ○直売施設の整備や県民への情報提供 ○県産水産物の知名度向上のための「おさかやぶ」キャンペーンの実施



4 食育を「支える」ための目標

項目	基準年	現状値(2021)	状況	目標(2025)	担当課室	2022年度の県の主な取組
○食育推進ボランティアから食育を学んだ人数	11.1万人(2019)	1.3万人(2020) 2.7万人(2021)	△	12万人以上	食育消費流通課	○食育推進ボランティアに登録と活動支援(情報発信による登録促進、地域食育推進ボランティア研修交流会の開催、活動における学校や企業との連携)
○食育推進ボランティアと学校・企業等との連携回数	227回(2019)	138回(2020) 287回(2021)	◎	240回以上		
○「いいともあいち運動」を知っている人の割合	22.7% (2020)	24.2%	○	28%以上	食育消費流通課	○協議会の開催、ネットワークの拡充 ○いいともあいち地域での開催 ○推進店の登録促進、ふるさと食品フェアの開催 ○あいちの農林水産物の開催

